

施策番号	2604		
施策名	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実		
概要	地震や水害等の被害を最小限に抑えるために、消防団、自主防災組織等の災害対応力を向上させるとともに、防災危機管理体制の充実を図る。		
担当局・部室	消防局・安全救急部	共管局・部室	行財政局・防災危機管理室
上位政策	26 消防・防災		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市地域防災計画、京都市国民保護計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	防火防災教育訓練への参加者数(延べ人数)(人)	c	b	406,584	385,145	418,097	92.1%	b	1.00
2	避難所運営マニュアルに基づく避難所運営訓練実施済みの避難所数(箇所)	-	-	175	214	256	83.6%	b	0.50
3	学区の中核となる市立小・中学校等に備蓄倉庫を配備する自主防災会数(自主防災会)	-	-	38	89	117	76.1%	c	0.50
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		c	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言う そう思う	どちらとも言 えない	どちらか 言うそう 思わない	そう思 わない	有効回 答者数
1	防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。	b	b	44	176	182	53	22	477
				9.2%	36.9%	38.2%	11.1%	4.6%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 消防・防災施策については、市民にとって平常時には実感を得にくいものであることから、客観指標を重視する。						27年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						26年度	C
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	防災危機管理対策	386,322	405,531	良い	行財政局
2	福祉避難所運営支援事業	5,544	8,404	良い	保健福祉局
3	地域における見守り活動促進事業	12,178	11,788	普通	保健福祉局
4	消防団管理	671,619	704,828	普通	消防局
5	消防団活動	351,725	378,778	普通	消防局
6	消防団運営	84,183	83,229	普通	消防局
7	自主防災組織の災害対応力の充実	1,372,086	1,332,272	良い	消防局
8	災害用備蓄物資整備	107,068	98,681	良い	行財政局
9	京都市市民防災センター	163,774	156,885	—	消防局
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・「防災行動マニュアル策定のためのガイドライン」を有効に活用しながら、地域事情に応じた発災時の避難行動、防災行動を具体的に明記した実効性の高い防災行動マニュアルの策定を推進し、平成29年度末までに各自主防災会で策定対象となっている災害事象の防災行動マニュアルを策定する。
- ・市民防災センターにおいて、今後更に各種イベントの充実を図るとともに、社会情勢に合わせたタイムリーな防火・防災情報をリアルタイムで発信することを検討する。

施策名	2604	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実				
指標名	防火防災教育訓練への参加者数（延べ人数）（人）					
担当課	安全救急部市民安全課		連絡先	2 1 2－6 6 9 2		
1 指標の説明						
消防局が実施する防火・防災教育訓練（防火管理・防災管理講習，普通救命・上級救命講習，広報を除く）への参加者数（京都市市民防災センター利用者数を含む。）						
2 指標の意味						
市民の防災意識の高さを示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：防火・防災教育訓練への参加者数（京都市市民防災センター利用者数を含む。） 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	406,584	385,145	21,439人減	418,097	年齢別推計人口から5歳以下及び防火安全指導対象者を除いた人口の1/3の数	92.1%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
・目標値を達成すればa評価 ・以下10%刻みでb～e評価						
7 評価結果						
262728						
c b b						

指標名	避難所運営マニュアルに基づく避難所運営訓練実施済みの避難所数（箇所）					
担当課	防災危機管理室		連絡先	2 1 2－6 7 9 2		
1 指標の説明						
各避難所運営マニュアルに定めている避難所の開設から閉鎖までの間の活動における，体験型訓練や図上訓練等を実施済みである避難所数						
2 指標の意味						
市民の災害対応力の高さを示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：各区役所・支所調べ						
4 数値						
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	175	214	39箇所増	256	平成32年度の目標値（全423箇所）を達成するために，当該年度達成すべき数値	83.6%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		423	32	50.6%	全避難箇所	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満						
6 基準説明						
・目標値を達成すればa評価 ・以下20%刻みでb～e評価						
7 評価結果						
262728						
- - b						

施策名	2604	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実					
指標名	学区の中核となる市立小・中学校等に備蓄倉庫を配備する自主防災会数（自主防災会）						
担当課	防災危機管理室		連絡先	2 1 2－6 7 9 2			
1 指標の説明							
全227自主防災会のうち、避難所として指定されている学区の中核となる市立小・中学校等の備蓄倉庫に備蓄物資を配備する自主防災会数							
2 指標の意味							
地域の防災危機管理体制の充実度を示す指標							
3 算出方法・出典等							
算出方法：各区役所・支所調べ							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度	
数値	38	89	51自主防災会増	117	平成32年度の目標値（227自主防災会）を達成するために、当該年度達成すべき数値	76.1%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		227	32	39.2%			全自主防災会
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満							
6 基準説明							
・目標値を達成すればa評価 ・以下20%刻みでb～e評価							
7 評価結果							
26		27		28			
-		-		C			